



©宝塚歌劇団

コロナ禍は、社会や生活様式だけでなく、
私たちの意識や物事の捉え方にも大きな変化をもたらしました。

より良い未来を創造するためには

その変化をチャンスと捉え、行動を起こしたい。

そう思った思いから、情報誌『CEL』では、

「未来を創る」と題したシリーズを展開しています。

第2回のテーマは「新しい文化芸術のかたち」。

「文化芸術は果たして本当に必要なのか」。

その存在意義が改めて問われるなか、

自らその意義や社会的価値を見つめ直し、

新たな表現に挑戦する取り組みに迫りました。